20200908_農業ビジネス研究会_議事録

日　時：2020 年 9 月 8 日（火）19:00－20:30
場　所：Zoom
テーマ：オンラインきき酒会／第 3 回「吟醸酒のパイオニア！ 出羽桜の飲み比べ」
ゲスト：仲野益美さん（出羽桜酒造株式会社 代表取締役）
参加者：14 人
（NPO 法人理事長、財務コンサルタント、会社経営、会社員、大学生、税理士、行政書士、司法書士など）

目次：
１．新型コロナウイルスの影響
２．日本酒を世界のサケに、山形を日本酒の聖地に
３．出羽桜の特色
４．日本酒の輸出
５．まとめ

発表：
１．新型コロナウイルスの影響
山形県の酒造業界への新型コロナウイルスの影響は、4 月、売上げ 50%となりました。一番影響が出た月です。その後、6 月、60%、7 月、90%となり、回復してきています。家飲みが増えていますが、大手酒造メーカーのパック酒が売れ筋の状況です。東日本大震災でも影響が出ましたが、東北以外がバックアップしてくれました。しかし、今回は国内外すべてダメになっています。酒販店はなんとか頑張っておりますが、飲食店は大苦戦しています。四合瓶が販売のメインになっています。一升瓶の販売は苦戦しています。また、地元に根差している酒蔵はなんとか頑張っている現状です。海外輸出については、米国向けが 3 月以来、8 月にやっと再開しました。米国は輸出の 4 割を占める市場です。大苦戦の状況です。

２．日本酒を世界のサケに、山形を日本酒の聖地に
日本酒を世界の酒にしたいです。山形を日本酒の聖地にしたいです。世界の日本酒好きが山形県を訪ねてくるようにしたいと思っています。そのためには、産地を理解していくところからです。山形県には、県内業界をリードする大きい酒蔵がありません。たとえば、宮城県だと一ノ蔵、浦霞の両巨頭があります。しかし山形県は業界のまとまりが良く、GI（地理的表示）につながっています。これが「GI 山形」です（県単位の日本酒の地理的表示では山形が唯一指定されています。この GI 山形マークは外部の専門家も交えた審査会で一定の基準を満たしていると認められた日本酒のみに表示することができ、その日本酒の品質を保証するものです）。山形県の牛、サクランボ、ラフランスなど農産物と横でつながっています。

東北地方における日本酒の海外輸出については、山形がだんとつに多いです。生産量でいえば、秋田、福島に次ぐ第三位なのにです。少子化が進んでいますので海外へというのもありますが、酒蔵の目標のためでもあります。将来を見据える視点となります。

３．出羽桜の特色
出羽桜は研修生の多い酒蔵です。現在も 3 名が研修しております。いずれも酒蔵のご子息です。そのうちの一人は女性研修生です。福岡の酒蔵から来ています。ノウハウが盗まれないか？

 All Rights Reserved, 農業情報総合研究所

と心配される方もいらっしゃいますが、日本酒は同じお米と麹を使っても、同じものを造ることはできません。先代も情報はオープンにしろと言っていました。情報を隠しても、向上心のある人はいつか気付きます。むしろ弟子が頑張れば、師匠はもっと頑張らなくてならないことになります。守りに入ると酒造りで遅れをとることになります。また、情報を発信する人に情報が集まります。研修生は蔵の宝です。社長である私も研修生と大吟醸を造っています。オーナーが製造をわからないとダメです。そのおかげでお客様にいろいろな日本酒を問うことができます。

４．日本酒の輸出

日本酒の輸出は生産量全体の 5-6%ぐらいです。フランスワインだったら 30-40%、金額は 1 兆円に近いです。日本酒は 234 億円ぐらいです。まだまだです。出羽桜は 21 年前から輸出しています。世間的にはずいぶん早くから輸出していますねと言われます。業界の輸出委員会は立ち上がってから 10 年ほどです。日本酒の輸出は始まったばかりと認識しています。山形、日本を背負っていく覚悟も持っています。しかし、日本酒だけではダメです。山形はどういう風土・環境のところか？、どういう食材と合わせて飲んでいるのか？、どういうポリシーで造っているのか？が問われます。その後に、数字のスペックです。なのに、日本酒を数字のスペックから売ってしまいます。たとえば、現在の技術でいえば、精米は 1%までできます。吟醸香もいくらでも出せます。そうでないところでいかに魅力を発信するのか。まだまだこれからと考えています。

５．まとめ

日本酒の飲み比べについて、出羽桜と他社の場合もお薦めてしています。お客様をいくらガードしても無駄です。広くいろいろなメーカーを飲むことで日本酒への理解が深まります。その理解があれば、お客様は出羽桜に戻ってきてくださいます。

以上

 All Rights Reserved, 農業情報総合研究所